



防火を促す電光掲示板(ほげんや21)

消防局の依頼受け、ほげんや21 電光掲示板で防火啓発

警報器設置やたばこの始末

宇部・山陽小野田消防局(杉本秀一消防長)は、宇部市恩田町5丁目の保険代理店ほげんや21(亀井隆社長)の外壁に取り付けられた電光掲示板を活用して、防火に関する呼び掛けを行っている。住宅用火災警報器の設置の推奨やたばこの後始末を促す情報を流している。

同社は7年前に地域社会の貢献として縦120センチ、横240センチの掲示板を設置。これまで行政情報を発信しており、同局からの依頼を受けて無償で協力した。国道190号沿いに位置し、交通量も多いため、ドライバーや通行人の目に止まりやすい。亀井社長は「安心・安全なまちを目指して市民に見てもらい、防火の意識を高めてほしい。少しでも力になれば」と話した。

火災警報器に関しては設置の義務化はもちろ

ん、電池切れや故障が無いか点検するよう呼び掛けている。毎年、市内で火災の原因として上位に

挙がるたばこについては、消したつもりが時間の経過でどのように変化するかを検証した動画もある。

同局予防課の木下篤志さんは「火災は未然に防げる。火災警報器を設置して命や財産を守ってほしい。初期消火に自宅用消化器の設置もお願いし

たい」と話した。

(岩本遼)